



ホンモノにふれ感性を育む授業

朗読ミュージカル「どんぐりと山猫」が、本日7日(水)に本校で開催されました。まずは1・3・5年生が3・4時間目に参観し、2・4・6年生が5・6時間目に参観しました。この朗読ミュージカルは、転回社という演劇を制作される団体によるものです。より多くの人に演劇作品を届けたい、より多くの人に表現することの楽しさを知ってもらいたいという思いで団体を立ち上げられました。そして、この団体のプロデューサーの小松野希海さんはテレビでも活躍され、熊本では有名な方です。小松野さんは、「劇団四季」に入団され、ライオンキングや赤毛のアンなどに出演されています。そして、帰熊され、地元熊本でミュージカルを制作したいという長年の夢を叶えて活躍されています。実は、今回の演目は「どんぐりと山猫」は、2017年に始まりましたが、その初お披露目を5年前に当時勤務していた学校で観ました。小松野さんにつてのあった職員にお願いし、公演していただきました。そして今年度またそのパワーアップしたミュージカルを観ることができたことを、縁に感じ嬉しく思っています。



【あらすじ】差出人が「山ねこ」の不思議な手紙を受け取った一郎。森を抜けて山ねこに会いに行くと、誰が一番えらいかを決める裁判に立ち合うことになります。めいめい自分が一番偉いと言うどんぐりたち。一郎はいったいどうやってこの場を鎮めるのか…?〈原作:宮沢賢治〉

またミュージカルは、宮沢賢治の世界観をオリジナルソングに乗せて表現されました。団員の方々の歌やダンスにすっかり魅了され、子供たちもすっかり引き込まれていきました。このミュージカルを参観した子供たちの感想を紹介します。

5年生:劇団四季の元団員の方だと聞いて、すごいとは思っていたけど、想像以上の迫力で動きもとてもよかったです。私たちは宿泊教室で寸劇をするので、とても参考になりました。🔴レッドの心で、自分を伸ばしたいです。/3年生:たった6人だけで劇をするなんてすごいと思いました。劇のストーリーが面白く、特に山猫の低音から高音にかけての歌声は心に響きました。🟡ブルーの心で感動しました。/6年生:🟢グリーン心が伸びました。その理由は、一郎が山猫の誘いを快く受けたことで「ともに生きる心」が伸びました。学校生活の中でも、誰かから頼まれたことを快く受けようと思いました。

小松野さん曰く「帯西の子供たちの感想は、100回くらい講演してきて初めて聞くような内容(「4つの心」で表現すること)でびっくりしました。また拍手とか手拍子がとても上手で、見方・聞き方がとてもいいから、思わずいつもより張り切って踊りました。」子供たちは、ホンモノにふれたことで、感性が育まれた一日になったと思います。